



# ふじみだい

## 読書のススメ

校長 山本 加奈代

秋晴れのさわやかな日が続いております。天高く馬肥ゆる秋の到来です。秋桜（コスモス）が秋風に揺れています。秋空いっぱい秋茜（アキアカネ）が飛んでいます。秋刀魚、秋鯖、秋茄子などの食べ物もおいしい季節でもあります。秋の付く言葉を集めてみると、実にその多さに気付かされました。

さて、そんな秋の夜長に読書を楽しんでみてはいかがでしょうか。

わたしが担任をしていたころ、ある児童が「どんな勉強をしたら国語がもっとできるようになりますか。」と質問にきました。「文章を声に出して読んだり、新しく習う漢字を何度も練習したり、努力することかな。」「でもね、本当に国語の力をつけたいならば、たくさん本を読むことだよ。」と伝えました。

確かに、読書をしたからすぐに国語の学習が分かるわけではありませんが、これまでの経験から、読書好きの子どもはかなり高い確率で国語の力が高いことを実感していました。読書好きの子どもは、言葉の数が豊富で、触れた言葉が自然に自分の言葉となって、書くときも話すときも表現が豊かです。また、活字に対する抵抗感が少ないので、長い文章も苦にせず楽に読んでいます。集中力や粘り強さも身に付いてきます。

わたしたちの生活の中でも「文章を丁寧に、じっくり読む」ことはとても大切なことです。その力を身に付けるためにも、読書の果たす役割は大きいのです。

さらに、読書のよさはこればかりではありません。これまで経験したことのないこと、知らなかったことを初めて知る機会にもなります。また、描かれている情景や心情を思い浮かべることで、豊かな想像力や感受性が育まれます。そのような経験を重ねることで、相手の気持ちになって考えられるようにもなってきます。読書には多くのメリットがあるのです。

本校でも、9月29日から10月9日まで読書週間として学校全体で取り組みます。どんな本がよいのか選ぶのに苦労するときは、学校司書の椿先生にも相談してみてください。お家にいる機会も多くあるこの時期に、ご家族でも「読書の秋」を楽しんでほしいです。



10月は前期のまとめであり、あゆみをお配りします。新学習指導要領の実施に伴い今年度から「児童にどんな力が身に付いたのか」ということをより意識して指導し、3つの観点で評価をしています。詳細については、後日配布するプリントをご覧ください。お子さんのよさを伸ばし、課題に向けて前向きに取り組んでいけるように励ましていきたいと思っております。ご家庭でもぜひお声をかけていただきますようお願いいたします。

また、10月24日（土）は運動会を予定しています。午前中を3つに分けて実施し、保護者の参観は1家庭1名をお願いします。新型コロナウイルス感染防止を徹底するため例年のような開催はできませんが、子どもたちの活躍する場を設けたいと強く願い、計画しております。当日は近隣の皆様にご迷惑をおかけしないように、ご協力をお願いいたします。知恵を出し合い工夫することで運動会を開催できる喜びが、子どもたちにとって大きな自信となり、特別な思い出となるように、私たち教職員も全力で支援していきたいです。3密を防ぐため、地域の皆様にはご案内できず申し訳ありません。ご理解とご協力をお願い申し上げます。